

令和8年度 事業計画書

I 事業運営の基本方針

令和7年度は、フリーランス保護法への対応や包括契約方式への移行をはじめ、センター運営における制度・仕組みの見直しを着実に進めた一年であった。これらの取組は、今後の安定的な事業運営を支える基盤づくりとして、大きな意義を有するものである。

令和8年度は、こうして整えてきた制度や運用を一過性の対応に終わらせることなく、日常業務の中に確実に定着させ、より安定した運営へとつなげていく年度と位置付ける。

また、本年度はセンター創立30周年という大きな節目の年でもある。これまでの歩みを振り返り、先人や会員、関係機関、地域の皆様に支えられて今日のセンターがあることに感謝するとともに、これまで培ってきた信頼と実績を今後の発展につなげる機会とする。

あわせて、センター移転等の環境変化も見据えながら、新たな挑戦に備えるための足元固めの年度とし、会員および役職員双方にとって無理のない、持続可能なセンター運営を目指す。

また、昨今の物価高騰や人手不足の継続に加え、中東情勢の緊張による原油・エネルギー価格の動向など、社会経済情勢は先行き不透明さを増している。このような中であっても、センターは地域に根ざした就業機会の確保という役割を着実に果たし、就業機会の「量」だけでなく「質」と「持続性」を重視しながら、会員一人ひとりの年齢、体力、経験、希望に応じた活躍の場づくりを進めていく。

DXについては、導入から活用・定着の段階へと歩みを進め、AIの活用等による事務の効率化、情報共有の円滑化、会員サービスの向上につながる実践的な取組を進める。

さらに、「安全はすべてに優先する」という基本理念のもと、安全・適正就業を一層徹底し、高齢者が健康で生きがいを持って地域社会に貢献できる環境づくりを進めることで、センターの持続的な発展と地域社会へのさらなる貢献を目指す。

II 数値目標

会員の確保：会員数 362 名

就 業 率：90.0%

契 約 金 額：1 億 6 千 3 百万円

III 事業計画

1 就業に関する情報の収集及び提供

地域に密着した就業情報の収集に努めるとともに、企画・広報委員会を中心とした広報活動を通じて、センターの役割や魅力を分かりやすく発信する。

- ① 町広報への記事の掲載
- ② ホームページ及び SNS の活用
- ③ 会報「シルバー猪名川」を発行
- ④ センターだよりの発行（会員向け）

- ⑤ 「いながわまつり」「さくらまつり」等での広報活動
- ⑥ 入会説明会参加者に対する情報提供
- ⑦ 出張入会説明会（スーパー等）での情報提供
- ⑧ 「Smile to Smile」による情報の提供

2 就業に関する調査及び研究

就業開拓員を中心に、町内事業所および一般家庭等を訪問し、就業ニーズや課題の把握に努める。

また、高齢者に適した就業内容について調査・研究を行い、無理のない就業機会の創出につなげる。

3 就業相談の実施

会員の入会および就業に関する相談を実施し、生きがいの充実と就業意欲の向上を図る。

- ① 各種団体・事業所等との連携による相談対応
- ② 入会説明会での就業相談
- ③ 入会前体験就業の実施
- ④ 就業上の悩みやハラスメント等を含む相談対応
- ⑤ オンラインによる相談対応

4 就業機会の確保及び提供

現在の就業先が維持できるように配慮しながら、家庭や企業からの受注拡大を図り、就業機会の確保と拡大に努める。

- ① 独自事業の継続及び推進（刃物研ぎ、健康体操教室、布遊会（ミシンカフェ））
- ② 行政との連携による公共事業の確保と新規開拓
- ③ 会員の自主的事業運営参加と職群班化の推進
- ④ 企画・広報委員会を中心とした新規事業創出への取り組み
- ⑤ 請負・委任による事業の実施
- ⑥ 包括契約方式による事業の実施
- ⑦ シルバー派遣事業の実施
- ⑧ 有料職業紹介の実施

5 講習会等の開催

高齢者の就業機会の拡大のため知識・技能の習得等を目的としてセンター主催の講習会等を実施するとともに、各種団体等が実施する就業に関する技能講習への参加を促す。

- ラジコン草刈機講習会、家事支援スタッフ講習会（兵庫県シルバー人材センター協会との共催）
- 草刈講習会
- 接遇研修会
- 交通安全講習会
- 普通救命講習会

- 蜂刺傷事故対策講習会
- その他

6 安全・適正就業の推進（安全・適正就業委員会）

「安全はすべてに優先する。」を基本に、自己啓発を促すなど、組織を挙げて事故防止に取り組む。

- ① 委員会、研修会等を通じた事故防止を含めた安全意識の向上
- ② 安全に関する講習会の実施（普通救命講習会、交通安全講習会、蜂刺傷事故対策講習会、草刈講習会）
- ③ 安全パトロールによる巡回指導の実施
- ④ 交通安全及びマナー意識の向上
- ⑤ 安全保護具の着用並びに安全用具の使用の徹底
- ⑥ 安全就業に係る啓発記事の作成
- ⑦ 就業制限の基準の厳格運用
- ⑧ 就業状況の定期確認
- ⑨ 安全適正推進員の配置

7 女性会員の拡大

(1) 女性部の活動の支援

- ・ 女性会員の視点・発想・特性・経験を生かし、女性会員の入会促進、会員相互の交流の推進および就業機会の拡大を図る。
- ・ 女性が主体的に企画・提案する事業活動を通じて、会員の生きがいの充実と地域社会への貢献をめざす。

(2) 子育て支援ホームヘルパー派遣事業

産前・産後間もない方に対する家事支援サービスによって就業機会の確保に努める。

8 地域班活動の支援

会員相互の連携と結束による活力あるセンター運営を目指し、地域班独自の活動を基本とし、実情に応じた柔軟な運営を支援する。

また、新入会員への周知を強化し、担当理事・関係委員会と連携して活動の継続を図る。

各地域班の活動

大島	地域班会議の開催 大島小学校区まちづくり協議会の清掃奉仕活動に参加 新年会の開催
楊津	地域班会議の開催 道の駅周辺の美化奉仕活動 食事会の開催

白金	地域班会議の開催 パークタウン中央バス停周辺美化奉仕活動・花壇の管理 懇親会の開催 リクリエーション
猪名川	さんさん公園の美化奉仕活動
つつじが丘	差組公園の美化奉仕活動・花壇の管理
松尾台	定例交流会の開催 日生中央駅周辺の美化奉仕活動・花壇の管理 松尾台小学校の側溝等の美化奉仕活動 レクリエーション
旧阿古谷	地域班会議の開催 阿古谷川沿い通学路の点検・美化奉仕活動

9 猪名川町社会福祉会館の管理

指定管理者として、施設の効率的かつ適正な管理に努める。

10 福利厚生事業（共益事業）

会員相互の親睦や連帯意識の高揚並びに生きがいと健康づくりを目指した事業を実施する。

- ① グラウンド・ゴルフ大会
- ② 親睦旅行の開催
- ③ 同好会活動の支援（囲碁、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、てくてく・もぐもぐ、詩吟、音楽サークルアンダンテ）
- ④ 同好会立ち上げの支援（麻雀、その他）
- ⑤ 会員の慶弔見舞金等の給付

11 社会奉仕活動等の実施

地域社会に貢献するため、『環境美化運動』など、働くだけでなく地域社会にお返しをする取組について、センター会員が多数参加でき、かつ地域に喜ばれる内容を検討し実施する。

12 その他当センターの目的を達成するために必要な事業

(1) 公益社団法人としての確実な事業運営

定款に定める目的を推進するため、法令を遵守し、必要な規程を整備し、センターの健全な事業体制の確保に取り組む。

(2) 運営基盤の強化・組織の充実

- ① 財政の健全化を図るため、就業実績の拡大は勿論のこと、経費の削減に努め組織体制の見直しを推進する。

- ② 基本理念を踏まえた事業を推進するため、役員等の役割や活動の明確化を図り組織強化に努める。
- ③ 専門委員会の活発な活動により、事業の充実を図る。

安全・適正就業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員の健康・安全・適正就業に係ること ● 事故防止に係ること ● 職群班に係ること
企画・広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 会報「シルバー猪名川」の編集と発行 ● 就業開拓と普及啓発に係ること ● 地域班に係ること
総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 総務・財務及び組織に係ること ● 他の委員会の所掌外のこと
親睦委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 親睦事業に係ること ● 同好会に係ること ● 会員の相互扶助及び福利厚生に係ること
女性部	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性会員の拡大に係ること ● 高齢者の福祉に資する事業の企画

- ④ 事務局体制の充実強化により、職員の意識改革を図り、適正な役割分担のもとに協力しながら組織体制の構築に努める。
- ⑤ 関連の研修等へ参加し、職員の資質向上に努める。
- ⑥ 健全な財政運営を図るために人件費の効率的な執行や、配分金基準単価及び事務費の改定など自主財源の確保に取り組む。
- ⑦ シルバー情報提供アプリ「Smile to Smile」を活用し、効率的な情報提供に努め、情報伝達にかかるコストの削減を目指す。

(3) 創立 30 周年記念事業

- ① 創立 30 周年の節目を好機と捉え、センターのこれまでの歩みと地域への貢献を広く PR する。
- ② 創立 30 周年を記念し、会員等に記念品を配布するとともに、周年機運の醸成を図る。

(3) 報告第3号 令和8年度 収支予算について

令和8年度 収支予算書
(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	75,312	75,312	0
受取配分金	60,800	60,800	0
受取材料費	6,000	6,000	0
受取事務費	8,512	8,512	0
包括的契約に係る収益	3,628	3,628	0
受取センター業務委託料	2,128	2,128	0
受取材料費	1,500	1,500	0
指定管理事業受託収益	10,503	14,820	△ 4,317
指定管理受託収益	10,503	14,820	△ 4,317
労働者派遣事業等受託収益	5,300	4,950	350
労働者派遣事業受託収益	5,300	4,950	350
受取会費	1,110	1,080	30
正会員受取会費	1,110	1,080	30
受取補助金等	31,642	31,442	200
受取連合交付金	13,339	13,339	0
受取市(区)町村補助金	18,303	18,103	200
受取負担金	321	250	71
受取負担金	321	250	71
特定資産運用益	1	1	0
特定資産受取利息	1	1	0
雑収益	51	56	△ 5
受取利息	1	1	0
雑収益	50	55	△ 5
経常収益計	127,868	131,539	△ 3,671
(2) 経常費用			
事業費	132,698	134,785	△ 2,087
支払配分金	62,320	66,583	△ 4,263
支払材料費等	6,005	6,005	0
支払材料費等(包括的契約)	1,500	1,500	0
給料手当	26,007	23,614	2,393
臨時雇賃金	2,517	3,431	△ 914
法定福利費	3,594	3,210	384
退職給付費用	456	456	0
福利厚生費	258	317	△ 59
賞与引当金繰入額	1,848	1,747	101
会議費	25	25	0
旅費交通費	81	68	13

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
通信運搬費	1,739	1,790	△ 51
減価償却費	35	65	△ 30
什器備品費	0	0	0
消耗品費	3,367	4,205	△ 838
修繕費	1,610	567	1,043
印刷製本費	504	538	△ 34
光熱水料費	3,750	3,770	△ 20
賃借料	3,669	3,602	67
保険料	1,966	2,118	△ 152
諸謝金	559	611	△ 52
租税公課	3,548	3,342	206
支払負担金	367	334	33
委託費	6,152	5,803	349
教材費	11	11	0
支払手数料	430	593	△ 163
雑費	380	480	△ 100
管理費	3,073	2,538	535
給料手当	613	556	57
法定福利費	98	89	9
退職給付費用	24	24	0
福利厚生費	444	4	440
賞与引当金繰入額	58	50	8
会議費	27	28	△ 1
役員等旅費交通費	578	601	△ 23
旅費交通費	20	33	△ 13
通信運搬費	171	170	1
消耗品費	145	100	45
印刷製本費	66	110	△ 44
光熱水料費	6	6	0
賃借料	57	7	50
保険料	29	29	0
諸謝金	40	40	0
租税公課	10	10	0
支払負担金	299	297	2
委託費	228	224	4
支払手数料	10	10	0
雑費	150	150	0
経常費用計	135,771	137,323	△ 1,552
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,903	△ 5,784	△ 2,119
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,903	△ 5,784	△ 2,119

(3) 報告第3号 令和8年度 収支予算について

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却（除去）損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,903	△ 5,784	△ 2,119
一般正味財産期首残高	46,475	46,348	127
一般正味財産期末残高	38,572	40,564	△ 1,992
Ⅱ 正味財産期末残高	38,572	40,564	△ 1,992

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度 当初予算額	増 減
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
周年記念事業積立資産取崩収入	0	0	0
事業所整備積立資産取崩収入	0	0	0
投資活動収支計	0	0	0
(投資活動支出)			
固定資産取得支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
退職給付引当資産取得支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
周年記念事業積立資産取得支出	0	0	0
事業所整備積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
【財務活動収支の部】			
(財務活動収入)			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
リース債務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(財務活動支出)			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
リース債務返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0

2. 借入金限度額

短期借入金限度額は2,000,000円とする。

3. 債務負担額	10,692,586円
令和8年度	3,242,896円
令和9年度	2,379,256円
令和10年度	1,481,436円
令和11年度	1,378,476円
令和12年度	1,083,346円

(4) 報告第4号 資金調達及び設備投資の見込み

事業	自	令和8年4月1日	法人コード	A007171
年度	至	令和9年3月31日	法人名	公益社団法人猪名川町シルバー人材センター

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定の有無を記載し、借入予定がある場合は、その借入先等を記載して下さい。

借入の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額		使 途	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去又は売却を含む)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載して下さい。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の使途	